

電気ストーブ等の電気暖房機器による火災及び ゆたんぽやカイロ等による低温やけどにご注意ください

これから冬を迎え、暖房機器を使用する機会が増加する季節ですが、電気ストーブ等の電気暖房機器や、ゆたんぽ、カイロ等の事故も多く発生しています。

これらの製品は火を使わず手軽に扱えることもあり、事故の発生時期がガス・石油暖房機器よりも早く、毎年10月頃から事故件数が増加し、12月～2月にかけて最も多く発生しています。

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}において、電気ストーブ等の電気暖房機器^{※2}やゆたんぽ、カイロ等^{※3}による事故は、平成22年度から平成26年度までの5年間に合計960件^{※4}ありました。

製品別の内訳では、電気ストーブ（オイルヒーターを含む）が480件と最も多く発生しており、次いで電気温風暖房機98件、電気カーペット83件、電気こたつ38件、電気毛布37件、電気マット34件、その他電気暖房機（電気床暖房機、電気あんか等）135件、ゆたんぽ36件、カイロ11件などとなっています。

被害状況を見ると、死亡事故28件、重傷事故59件、軽傷事故78件、拡大被害^{※5}411件、製品破損等384件となっています。

電気暖房機器の事故では、火災を伴うものが多く（415件（45.9%））、重篤な被害に至る場合も多くなっています。また、ゆたんぽ、カイロ等の事故では、長時間皮膚に接触したため低温やけどを負ったものが多くなっています。

■ 電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等の事故事例

- 電気ストーブに衣類が接触したことによって、製品及び周囲を焼損する火災が発生し、1人が死亡した。
- 電気あんかの電源コードを本体に巻き付けて保管していたため、電源コード付根部分が半断線状態となって異常発熱し、足にやけど（重傷）を負った。
- 電気マットの上に布製クッションを置き、長時間通電していたため、マットが局部的に過熱して発火し、周囲を焼損した。
- ゆたんぽを長時間足に接触させて使用したため、低温やけど（重傷）を負った。

電気暖房機器による事故を防ぐためには、「周囲に可燃物（衣類、布団等）や可燃性ガスを含むスプレー缶等を置かない」「機器に異常を感じた場合には直ちに使用を中止する」などが重要です。ゆたんぽ、カイロ等による事故を防ぐためには「長時間同じ場所を温めないこと」などが重要です。お持ちの製品の取扱説明書を今一度ご確認ください。

また、リコール製品による事故も起きていますので、お使いの製品がリコール対象となっていないか、リコール情報もお確かめください。

暖房機器を使用する機会が増加する時期に際して、製品を正しく使用し、事故を未然に防止しましょう。



安全とあなたの未来を支えます

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。
- (※2) 電気ストーブ(オイルヒーターを含む)、電気温風暖房機、電気カーペット、電気こたつ、電気毛布、電気マット、電気あんか、電気床暖房器、電気浴室暖房機、電気ゆたんぼ等
- (※3) ゆたんぼ、カイロ、豆炭あんか、ペレットストーブ等
- (※4) 平成27年10月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。
- (※5) 製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

1. 事故の発生状況

(1) 年度別 事故の発生件数

図1に「年度別 事故発生件数」の推移を示します。

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故は減少傾向にありますが、昨年度においても、100件を超える事故が発生しています。

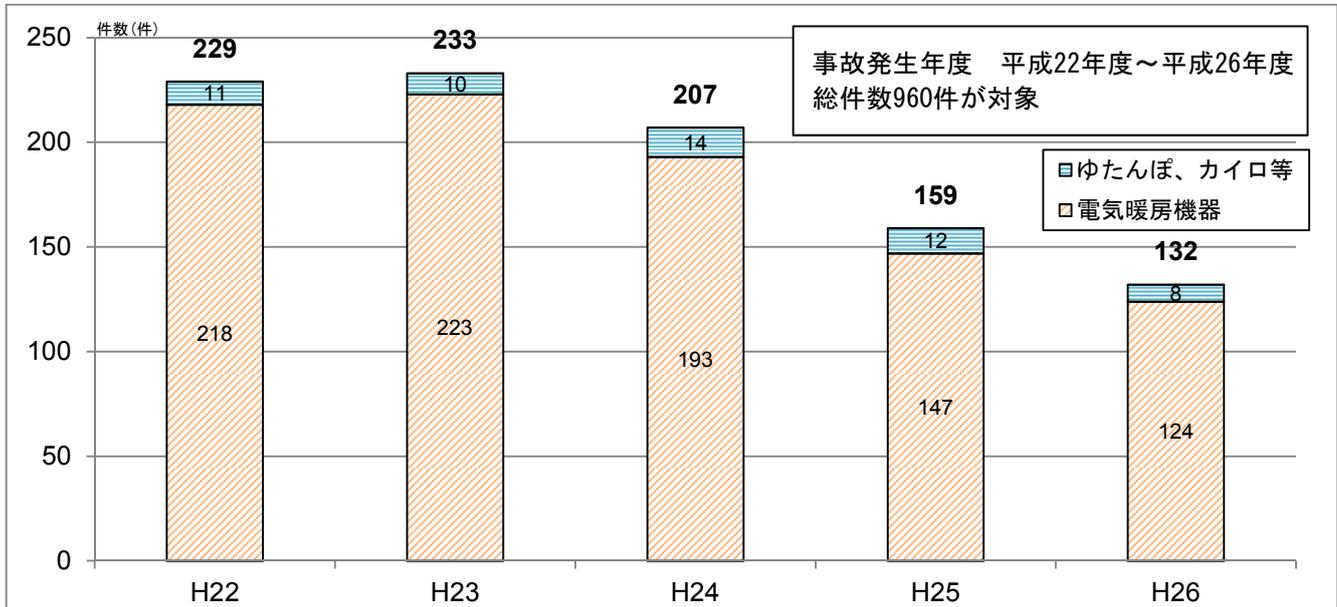


図1 年度別 事故発生件数

(2) 月別 事故発生件数

図2に「月別 事故発生件数」を示します。

電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故は10月頃から増加し、12月～2月にかけて最も多く発生しています。

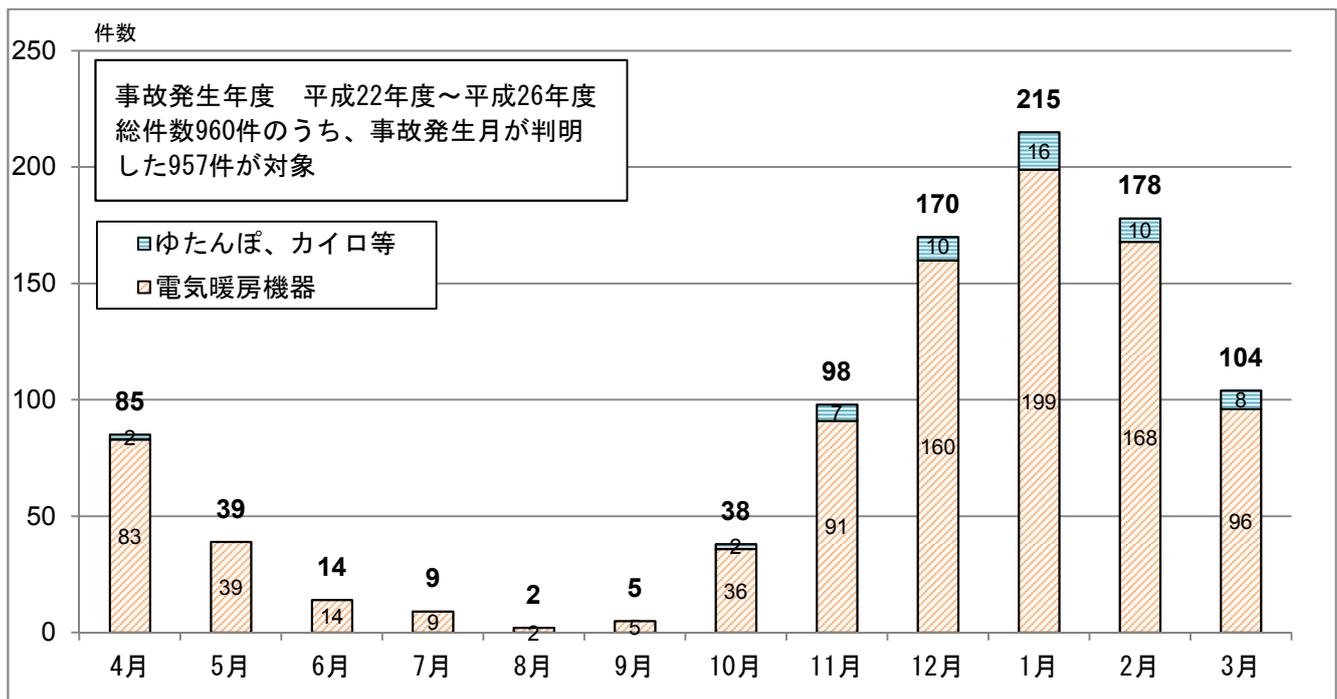


図2 月別 事故発生件数

(3) 製品別 被害状況

表1に「製品別 被害状況別 事故発生件数」を示します。

電気ストーブ（オイルヒーターを含む）が480件と最も多く発生しており、次いで電気温風暖房機98件、電気カーペット83件、電気こたつ38件、電気毛布37件、電気マット34件、その他電気暖房機（電気床暖房機、電気あんか等）135件、ゆたんぽ36件、カイロ11件などとなっています。

特に電気暖房機器の事故は火災を伴うものが多く発生しており（合計415件（45.9%））、死亡や重傷等の重篤な被害に至る場合も多くなっています。

(※6) 平成27年10月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。
人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表1 製品別 被害状況別 事故発生件数※6

製品名		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損破		
電気暖房機器	電気ストーブ		22 (23) [22]	3 (3) [1]	34 (51) [20]	183 [126]	236 [44]	2	480 (77) [213]
	電気温風暖房機		2 (3) [2]			31 [25]	64 [13]	1	98 (3) [40]
	電気カーペット		1 (1) [1]	2 (2)	4 (4) [3]	55 [30]	21 [6]		83 (7) [40]
	電気こたつ		1 (3) [1]	1 (1)	6 (8) [4]	22 [16]	7 [1]	1	38 (12) [22]
	電気毛布		1 (1) [1]	8 (8) [2]	2 (2) [2]	21 [19]	5 [2]		37 (11) [26]
	電気マット		1 (1) [1]		6 (8) [3]	20 [10]	7 [1]		34 (9) [15]
	その他電気暖房機器 (電気床暖房器、電気あんか、電気ゆたんぼ、電気浴室暖房機等)			11 (11)	15 (21) [4]	76 [47]	32 [8]	1	135 (32) [59]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	28 (32) [28]	25 (25) [3]	67 (94) [36]	408 [273]	372 [75]	5 [0]	905 (151) [415]
ゆたんぼ、 カイロ等	ゆたんぼ			28 (28)	5 (6)	1	2		36 (34) [0]
	カイロ			6 (6)	4 (4)		1		11 (10) [0]
	その他暖房機器 (ペレットストーブ、豆炭あんか等)				2 (2)	2 [2]	4 [2]		8 (2) [4]
	小計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	34 (34) [0]	11 (12) [0]	3 [2]	7 [2]	0 [0]	55 (46) [4]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	28 (32) [28]	59 (59) [3]	78 (106) [36]	411 [275]	379 [77]	5 [0]	960 (197) [419]	

(4) 使用期間別 事故発生件数

図3に「使用期間別 事故発生件数」を示します。

使用期間1年未満の事故が最も多く134件発生しており、使い始めの(製品に不慣れな)事故が多くなっています。

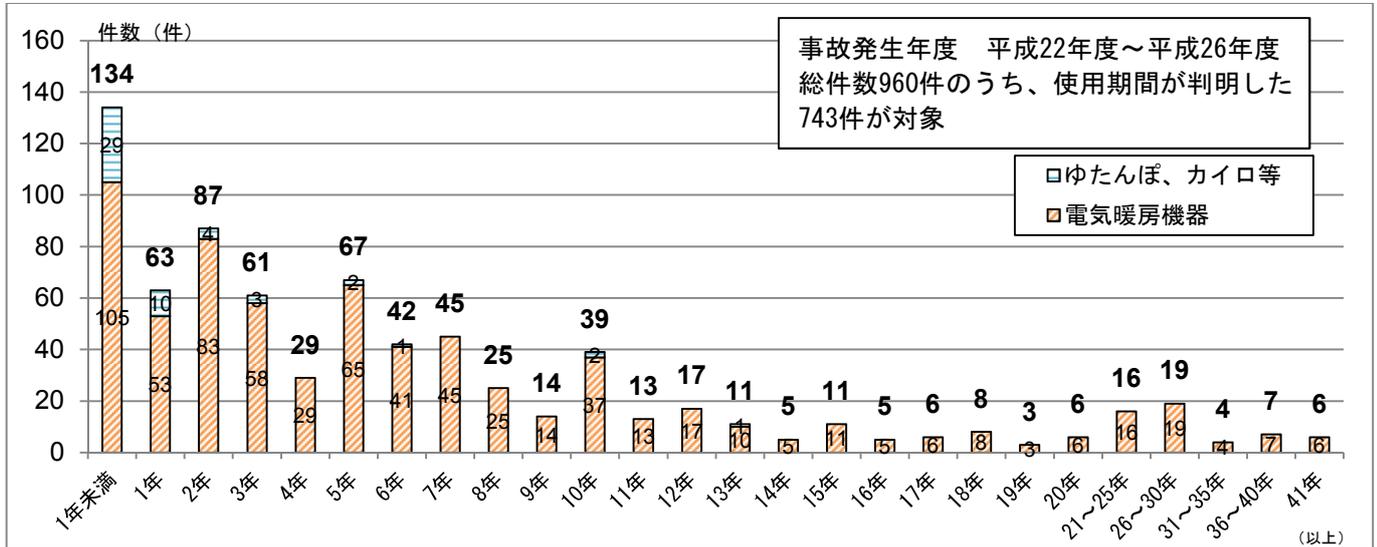


図3 製品の使用期間別 事故発生件数

(5) 年代別 被害者数

図4に「年代別 被害者数」を示します。

電気暖房機器やゆたんぼ、カイロ等による事故の被害はいずれの年代でも発生しており、年代によって多少の差はあるものの、死亡・重傷といった重篤な被害に至る割合が高くなっています。

特に60歳以上の高齢者においては、死亡に至る割合が高くなっており、全世代における死亡者32人(年齢不明も含む)のうち、24人(75.0%)が60歳以上の高齢者となっています。

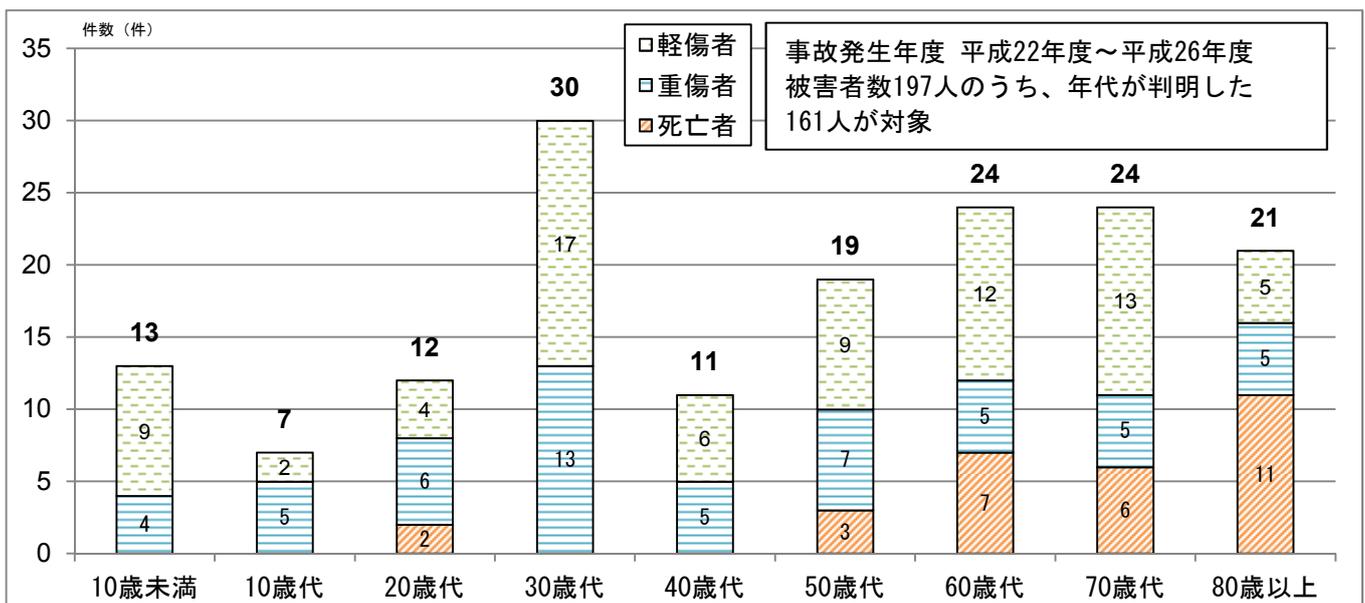


図4 年代別 被害者数

(6) 原因区分別 事故件数及び被害状況

① 原因区分別 事故件数

図5に「事故原因区分別 事故件数」を示します。

事故原因区分（別紙1参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 518 件（54.0%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F） 176 件（18.3%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3 を除く G） 169 件（17.6%）
- 調査中のもの（事故原因区分 H） 97 件（10.1%）

となっています。

「事故原因区分 A:設計、製造又は表示等に問題があったもの」が 391 件（40.7%）と最も多く発生していますが、この中には「電気ストーブの設計不良によって安全装置の作動が遅く、温風吹き出し口の樹脂が過熱されて変色（製品破損・51 件）」「電気温風暖房機の設計不良によって端子が接触不良となり異常発熱して溶融（製品破損・43 件）」等の同一事業者製品による多発事故が複数含まれています。

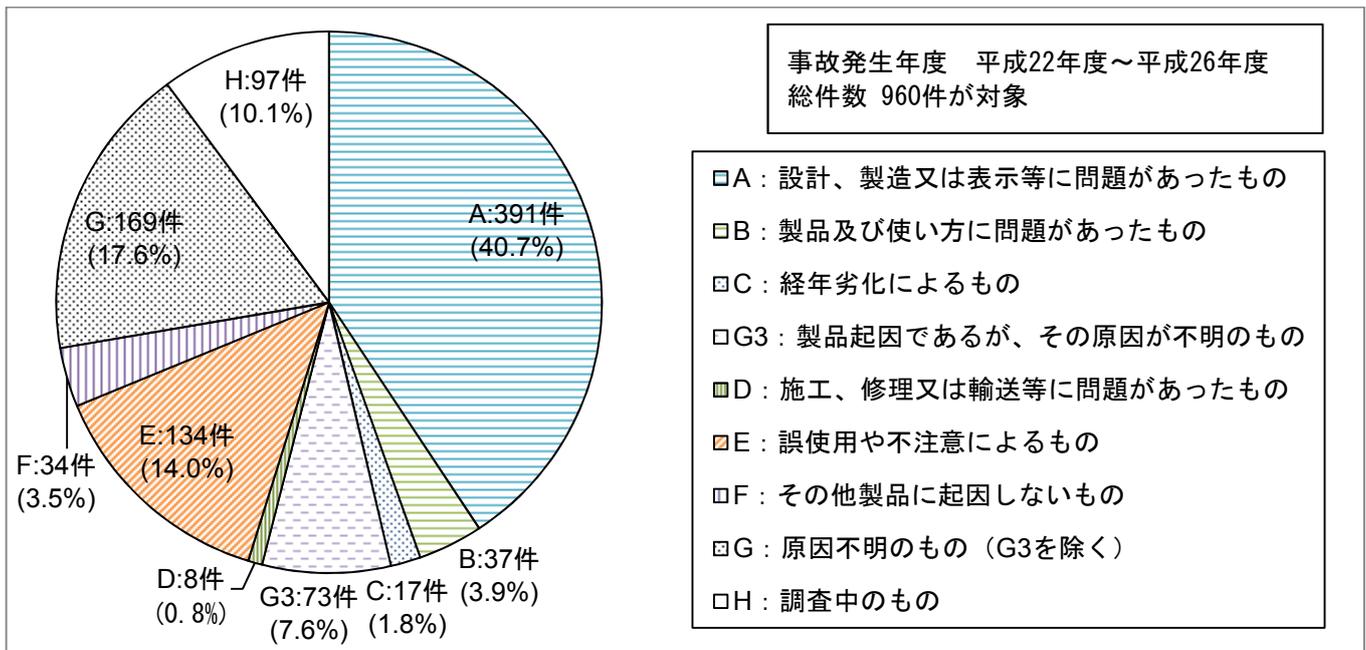


図5 事故原因区分別 事故件数（単位：件）

② 原因区分別 被害状況

表2に「原因区分別 被害状況」を示します。

表2 原因区分別 被害状況^{※6}

被害状況 事故原因区分		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	2 (2) [2]	6 (6)	21 (27) [6]	103 [52]	258 [38]	1	391 (35) [98]
	B: 製品及び使い方に問題があったもの		5 (5)	4 (4)	7 [6]	21 [1]		37 (9) [7]
	C: 経年劣化によるもの			2 (3) [2]	7 [4]	8 [3]		17 (3) [9]
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの		2 (2)	2 (5) [2]	41 [20]	28 [10]		73 (7) [32]
	小計 (事故件数)	2	13	29	158	315	1	518
製品に起因しない事故	D: 施工、修理又は輸送等に問題があったもの				8 [7]			8 (0) [7]
	E: 誤使用や不注意によるもの	4 (5) [4]	17 (17)	14 (16) [5]	79 [62]	20 [8]		134 (38) [79]
	F: その他製品に起因しないもの	2 (2) [2]	9 (9)	6 (12) [5]	14 [12]	2	1	34 (23) [19]
	小計 (事故件数)	6	26	20	101	22	1	176
G: 原因不明のもの (G3を除く)		11 (12) [11]	6 (6) [2]	23 (29) [12]	103 [64]	24 [5]	2	169 (47) [94]
H: 調査中のもの		9 (11) [9]	14 (14) [1]	6 (10) [4]	49 [48]	18 [12]	1	97 (35) [74]
合計	事故件数	28	59	78	411	379	5	960
	被害者数	(32)	(59)	(106)				(197)
	火災件数	[28]	[3]	[36]	[275]	[77]	[0]	[419]

(※6) 平成27年10月30日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 事故の現象別被害状況及び事故の事例

(1) 現象別被害状況

① 電気暖房機器による事故

表 3-1 に「電気暖房機器の現象別 被害状況」を示します。

「周囲の可燃物（衣類、布団等）が放射熱によって過熱されたまたはヒーター一部に接触したため、着火」が最も多く 48 件発生しています。これは、電気ストーブや電気温風暖房機、電気こたつにおいて多く発生しており、電気暖房機器の近くに置いた衣類や布団等の可燃物がヒーター線に接触したり至近距離で過熱されたこと等によって着火したものです。

次いで「電源コード等に過度な繰り返し引張りや屈曲、荷重等の負荷が加わり断線、ショートして発火」が多く 43 件発生しています。これは電気暖房機器全般において見られる事故です。

その他、電気カーペットや電気毛布、電気マット等において「電気マット等の上に保温性の良いものを長時間置いたため、ヒーター線が局所的に過熱されて断線し、異常発熱」「長時間皮膚に接触していたため低温やけどを負った」等の事故が発生しています。

- (※ 6) 平成 27 年 10 月 30 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。[] は火災件数。
人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。
- (※ 7) 電気ストーブ、電気こたつ、電気温風暖房器、デスクヒーター、浴室暖房器、電気火鉢
- (※ 8) 電気あんか、電気ストーブ、電気温風暖房機、電気毛布、電気カーペット、電気こたつ、電気マット
- (※ 9) 電気カーペット、電気マット
- (※ 10) 電気カーペット、電気ストーブ、電気あんか、電気毛布、電気ゆたんぼ
- (※ 11) 電気マット、ヒーター付靴下

表 3-1 電気暖房機器の事故の現象別被害状況^{※6}

現象	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損破		
事故原因区分B〜F	電気ストーブ等 ^{※7} の放射熱で過熱された、ヒーター部に接触した等によって可燃物（衣類、布団等）が着火	3 (4) [3]		6 (6) [4]	37 [32]	2 [1]		48 (10) [40]
	電気あんか等 ^{※8} の電源コードに繰り返しの引っ張りや屈曲、荷重等の負荷が加わり断線、ショートして発火		1 (1)	1 (1) [1]	31 [24]	10 [4]		43 (2) [29]
	長期使用による経年劣化によってコード類が断線して異常発熱、内部配線が接触不良になり異常発熱等			2 (3) [2]	7 [4]	8 [3]		17 (3) [9]
	電気マット等 ^{※9} の上に座布団等の保温性が高いものを長時間置いたため、局部的にヒーター線が過熱されて断線し、異常発熱			2 (2) [1]	4 [2]	2 [1]		8 (2) [4]
	電気カーペット等 ^{※10} が長時間皮膚に接触した、電気ストーブを至近距離で使用した等によって低温やけどを負った		4 (4)	3 (3)				7 (7) [0]
	電気マット等 ^{※11} を寝具の中で使用して繰り返しの荷重が加わったため、ヒーター線がずれて重なり合い、異常発熱	1 (1) [1]	1 (1)	1 (2)	2 [1]	1		6 (4) [2]
	電気ストーブに誤って接近しすぎたため、着衣に着火	1 (1) [1]						1 (1) [1]
	その他（電源コード等を改造、不適切な修理を行って使用したため、接触不良や異常発熱、等）	1 (1) [1]	4 (4)	8 (14) [4]	34 [28]	28 [3]	1	76 (19) [36]
	小計（事故件数）	6	10	23	115	51	1	206
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの	2 (2) [2]	4 (4)	18 (24) [6]	102 [51]	253 [37]	1	380 (30) [96]	
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの		1 (1)	2 (5) [2]	41 [20]	28 [10]		72 (6) [32]	
G：原因不明のもの（G3を除く）	11 (12) [11]	4 (4) [2]	18 (24) [12]	101 [63]	24 [5]	2	160 (40) [93]	
H：調査中のもの	9 (11) [9]	6 (6) [1]	6 (10) [4]	49 [48]	16 [11]	1	87 (27) [73]	
合計	事故件数	28	25	67	408	372	5	905
	被害者数	(32)	(25)	(94)				(151)
	火災件数	[28]	[3]	[36]	[273]	[75]	[0]	[415]

② ゆたんぼ、カイロ等の事故

表 3-2 に「ゆたんぼ、カイロ等の現象別 被害状況」を示します。

「長時間皮膚に接触したため、低温やけどを負った」が最も多く 19 件発生しています。

表 3-2 ゆたんぼ、カイロ等の事故の現象別被害状況^{※6}

現象	被害状況	人的被害			物的被害		被 害 じ	合 計
		死 亡	重 傷	軽 傷	拡 大 被 害	製 品 破 損		
事故原因区分 B、F	ゆたんぼ等 ^{※12} が長時間皮膚に接触していたため、低温やけどを負った		17 (17)	2 (3)				19 (20) [0]
	ゆたんぼ（電子レンジ加熱式）の過加熱によって容器が破損し、内容物がこぼれてやけどを負った		2 (2)	1 (1)				3 (3) [0]
	その他（内容物がこぼれてやけどを負った等）		2 (2)					2 (2) [0]
小計（事故件数）		0	21	3	0	0	0	24
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの			2 (2)	3 (3)	1 [1]	5 [1]		11 (5) [2]
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの			1 (1)					1 (1) [0]
G：原因不明のもの（G3 を除く）			2 (2)	5 (5)	2 [1]			9 (7) [1]
H：調査中のもの			8 (8)			2 [1]		10 (8) [1]
合 計	事故件数	0	34	11	3	7	0	55
	被害者数	(0)	(34)	(12)				(46)
	火災件数	[0]	[0]	[0]	[2]	[2]	[0]	[4]

(※ 6) 平成 27 年 10 月 30 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。[] は火災件数。
人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(※12) ゆたんぼ、カイロ

(2) 主な事故事例

① 電気ストーブ等の放射熱で過熱された、ヒーター一部に接触した等によって可燃物（衣類、布団等）が着火

平成 26 年 2 月 18 日（神奈川県、80 歳代・男性、死亡）

【事故の内容】

電気ストーブ及び周辺を焼損する火災が発生し、1 人が死亡した。

【事故の原因】

電気ストーブの周囲には衣類のような燃えかすがあった。製品の使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかったが、製品に可燃物を接触させたため、火災に至ったと考えられる。

事故が報告されている主な製品（※8）…

電気ストーブ、電気こたつ、電気温風暖房機、デスクヒーター 等

② 電気あんか等の電源コードに繰り返しの引っ張りや屈曲、荷重等の負荷が加わり断線、ショートして発火

平成 26 年 1 月 23 日（東京都、40 歳代・女性、重傷）

【事故の内容】

電気あんかを使用中、電源コード付根部分がショートして右脚にやけどを負った。

【事故の原因】

電気あんかの電源コードを本体に巻き付けて保管する等、本体側プロテクター先端部に繰り返し応力が加えられたため、電源コードの芯線が断線し、ショートしてスパークが発生し、やけどに至ったものと推定される。

なお、取扱説明書及び製品本体には、「電源コードはあんかに巻き付けない、プロテクター一部を折り曲げたり乱暴にしない」旨、記載されている。

事故が報告されている主な製品（※9）…

電気あんか、電気ストーブ、電気温風暖房機、電気毛布 等

③ 電気マット等の上に座布団等の保温性が高いものを長時間置いたため、ヒーター線が局部的に過熱されて断線し、異常発熱

平成 27 年 3 月 25 日（京都府、拡大被害）

【事故の内容】

電気マット付近から火が出て、周辺を焼損した。

【事故の原因】

電気マットの上にペット用ベッド（布製クッション）を置き、暖房用として長時間通電していたため、マットが局部的に過熱して焼損したものと推定される。

事故が報告されている主な製品（※10）…

電気カーペット、電気マット

- ④ ゆたんぼ等が長時間皮膚に接触していたため、低温やけどを負った
平成 26 年 1 月 30 日（東京都、30 歳代・男性、重傷）

【事故の内容】

ゆたんぼを使用中、左脚に低温やけどを負った。

【事故の原因】

使用者はゆたんぼカバーに入れた製品を、身体に接触させて使用していた。ゆたんぼを長時間足に接触させて使用したため、低温やけどを負ったものと考えられる。

事故が報告されている主な製品（※11）（※13）…

電気カーペット、電気ストーブ、電気あんか、電気毛布、電気ゆたんぼ、ゆたんぼ、カイロ 等

3. 事故を防止するために

暖房機器による事故を未然に防ぐため、取扱説明書の注意事項をよく読み、正しく使用していただき、機器の異常など事故の予兆に早めに気がつくことが必要です。

不具合や故障が判明した時は、使用を中止して、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

(1) 電気暖房機器の事故の防止

① 異常を感じた場合は直ちに使用を中止する

電気暖房機器に次のような症状が見られる場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから外して、購入店またはメーカーの修理窓口に相談してください。

<注意事項>

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い
- 電源プラグや製品本体が変色、破損している
- 焦げ臭いにおいがする
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 異音がする

② 電気ストーブ等の周囲に衣類等の可燃物や可燃性ガスを含むスプレー缶等を置かない。また、就寝時や外出時は電源を切る

電気ストーブ、電気こたつ、電気温風暖房機、デスクヒーター 等

電気ストーブ等の周囲に布団や衣類、カーテンなどの可燃物や可燃性ガスを含むスプレー缶などを置かないでください。放射熱による過熱や高温部への接触によって、火災や破裂・爆発が発生するおそれがあります。

また、就寝時や外出時には使用しないでください。寝具が高温部に触れる等によって着火し、火災が発生するおそれがあります。



(写真)電気ストーブに布団が接触して過熱される様子

③ 電源コード類を折り曲げたりねじったりしない

電気あんか、電気ストーブ、電気温風暖房機、電気毛布 等

電気暖房機器の電源コード類は、折り曲げたりねじったりした状態では使用しないでください。また、収納時に電源コードの付け根や温度コントローラの付け根を極端に屈曲させて保管しないでください。

電源コードに負荷がかかり、芯線が断線して異常発熱・発火するおそれがあります。

④ 電気カーペット等の上に座布団等の保温性が高いものを長時間置かない

電気カーペット、電気マット

電気カーペットや電気マットを使用する際、座布団や座椅子、布団など保温性が高いものを長時間同じ場所に置かないでください。

局所的に過熱されて異常発熱・発火が生じるおそれがあります。

⑤ 電気マットは、折りたたんだ状態やシワが寄った状態では使用しない

電気マット

電気マットは、折りたたんだ状態やシワがよった状態では使用しないでください。内部のヒーター線の固定がずれ、局所的に過熱されて異常発熱・発火が生じるおそれがあります。

(2) ゆたんぼ、カイロ等の事故の防止

電子レンジ加熱式ゆたんぼは、指定された加熱時間を守る

電子レンジ加熱式ゆたんぼを使用する際は、取扱説明書に従った加熱方法を守って行ってください。指定された時間、出力を超えて加熱すると過加熱によって容器が破裂し、やけどを負うおそれがあります。

(3) 低温やけどによる事故の防止

電気マットや電気毛布、ゆたんぼ、カイロ等を使用する際は、長時間同じ場所を温めないでください。長時間肌に直接触れ続けることによって、低温やけどを負うおそれがあります。

電気あんかやゆたんぼは就寝時には布団の外へ出す、体から離す等の注意が必要です。また、電気カーペットなど、就寝用に使用しないよう注意書きがある製品もありますので、使用時には取扱説明書をご確認ください。

特に高齢者の場合、若年者に比べて感覚が鈍く、熱源に接する時間が長くなるため、重症化する傾向があります。

また、幼児や身体の不自由な方、糖尿病の方が使用する場合は特に注意が必要と言われています。

■ 低温やけど^{*13}とは

温かいと感じる程度の温度でも、長時間にわたって同じところの皮膚に触れていると、皮膚温度が上がり、皮下の細胞組織などが壊死するために「低温やけど」になります。

44℃では3～4時間、46℃では30分～1時間、50℃では2～3分で「低温やけど」になると言われています。

一般的な「やけど」は皮膚の表層のみで起こりますが、「低温やけど」は皮膚の深部にまで及び、皮下組織が壊死する場合があるため、重傷事故に至るおそれがあります。



参考文献：山田幸生「低温やけどについて」製品と安全第72号、製品安全協会

(※13) 血流や皮膚感覚は個人差が大きく、接触時間によっては、44℃以下でも低温やけどになるおそれがあります。

4. リコール対象製品による事故の防止

(1) リコール対象製品による被害状況別 事故件数

表4に「リコール対象製品による被害状況別 事故件数」を示します。

電気暖房機器やゆたんぼ、カイロ等のリコール^{※14}対象製品による事故は、平成22年度～平成26年度までの5年間に合計249件ありました。このうち110件(45.3%)はリコール実施後に発生したものとされています。

リコール実施後に発生した電気ストーブの死亡事故1件は、ハロゲンヒーターの整流器(ダイオード)の不良によるものです。輸入事業者が倒産したため、販売事業者が平成18年度から自主回収を行っていました。

リコールが行われた製品をお持ちの場合、そのまま使い続けることは非常に危険なため、お使いの製品がリコール製品に該当する場合には、不具合が認識されなくても直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

表4 リコール対象製品による被害状況別 事故件数^{※15}

製品の種類		被害状況			人的被害		物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損				
電気暖房機器	電気ストーブ	2 [1]		5 [2]	43 [28]	62 [26]			112 [57]	
	電気温風暖房機				1	47 [3]			48 [3]	
	電気床暖房機				15 [12]	3 [3]			18 [15]	
	電気カーペット				12 [3]	3 [1]			15 [4]	
	電気ゆたんぼ		3 [1]	6 [1]	3	3 [3]			15 [5]	
	電気マット			2 [2]	6 [4]	3 [3]			11 [9]	
	その他電気暖房機器 (電気こたつ、電気あんか等)			4 [2]	14 [10]	6 [2]			24 [14]	
ゆたんぼ等	ゆたんぼ		3 [3]	1					4 [3]	
	カイロ					1			1 [0]	
	豆炭あんか			1					1 [0]	
合計		2 [1]	6 [4]	19 [7]	94 [57]	128 [41]	0 [0]		249 [110]	

(※14) リコールには消費者への注意喚起を含む。

(※15) 平成27年10月30日現在、重複、対象外情報を除いたリコール製品による事故発生件数。

[] はリコール実施後に発生した事故件数。

(2) リコール情報の検索

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989年度）以降に製造事業者、販売事業者等の事業者が行ったリコール情報を収集したデータベースを公開しており、リコール情報の検索を行うことができます。

電気暖房機器及びゆたんぼ、カイロ等のリコール情報について、別紙2に記載しています。



<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」等の単語で検索してください。

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美
担当者 池谷、西澤

- 記者説明会当日
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280

本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

表 事故原因区分一覧

	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
	H	調査中のもの	調査中のもの

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2010/04/19	ハロゲンヒーター	株式会社グラソン	<p>[製品名及び型式] アクテックハロゲンヒーター(中国製) 型式: NSH-800(平成14年9月生産)、NSH-850(平成15年9月生産) [問い合わせ先等] 04-7193-3591 [URL] http://www.post-seiwa.co.jp/index.html</p>
2010/06/08	オイルヒーター	株式会社ディンプレックス・ジャパン	<p>[製品名及び型式]2006年製 ・型式:ROF14J CADIZオイルヒーター(タイマーなしモデル) ・型式:ROF14ECCJ CADIZオイルヒーター(電子タイマー式モデル) ・型式:ROF14TJ CADIZオイルヒーター(メカタイマー式モデル) ・型式:ROF14TJB CADIZオイルヒーター(メカタイマー式モデル) [URL] http://www.dimplex.jp/topics/2010/06/cadiz.html</p>
2008/8/8 再社告 2010/07/30	蓄熱式電気暖房器	北海道電機株式会社	<p>[製品名及び型式] ●北海道電機株式会社 暖吉くん MEシリーズ ・型番:ME-4000 製造番号 * =M40A02118~M40A02301、ME4A00001~ME4A00542 製造番号=ME4A00543~ME4A02776 ・型番:ME-5000 製造番号 * =M50A02116~M50A02279/ME5A00001~ME5A01267 製造番号=ME5A01268~ME5A03437 ・型番:ME-7000 製造番号 * = M70A02702~M70A02908/ME7A00001~ME7A00902 製造番号=ME7A00903~ME7A05280 ●北日本電線株式会社 蓄暖王 HHKⅢシリーズ(OEM) ・型番:HHKⅢ-4000 製造番号 * =HⅢ4A00001 ~HⅢ4A00595 製造番号=HⅢ4A00596 ~HⅢ4A02315 ・型番:HHKⅢ-5000 製造番号 * = HⅢ5A00001 ~HⅢ5A01311 製造番号=HⅢ5A01312 ~HⅢ5A02878 ・型番:HHKⅢ-7000 製造番号 * = HⅢ7A00001 ~HⅢ7A00608 製造番号=HⅢ7A00609 ~HⅢ7A0 [URL] 北海道電機株式会社 http://hokkaido-denki.co.jp/news/ 北日本電線株式会社 http://www.kitaniti-td.co.jp/kinkoku/01/index.html#100730</p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2010/09/01	ハロゲンヒーター	株式会社シー・シー・ピー	[製品名及び型式] CCP's ハロゲンヒーター 型番:GN-30、GN-30N、GN-33、GN-33N、GN-33WH Neovee ハロゲンヒーター 型番:KH-800S、KH-800SI [URL] http://www.ccp-jp.com/life/News/Joshirase_201009_2.pdf
2010/10/25	電気式床暖房	ミタケ電子工業株式会社	[製品名及び型式] 機種:パセロ200V 型式:FL2-1818 [URL] http://www.mitake-electronic.co.jp/news.html
2011/02/15	電気ストーブ(カーボンヒーター)	燦坤(サンクン)日本電器株式会社	[製品名及び型式] 電気ストーブ(カーボンヒーター)ブランド名:EUPA(ユーパ) 機種名:UHC-3T:(色:ページュ)、UHC-9T:(色:ブルー)、TSK-5328CT(2007年製) [URL] http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html
2011/04/19	セラミック温風ヒーター	株式会社ユーイング(旧森田電工株式会社)	[製品名及び型式] MDS-1200CT ホワイト(WH)、グレー(GY)製造番号 M100001~M131000 [URL] http://www.uing.u-tc.co.jp/anounce/doc/a06000001.html
2011/05/27	遠赤外線ヒーター	株式会社デンソー	[製品名及び型式] 遠赤外線ヒーター「ENSEKI(エンセキ)」 (1)機種:DZR-08FR 型番:479000-2610、479000-2620 機種:DZR-10FR 型番:479000-2630、479000-2640 (2)機種:ND-08FR 型番:479000-2520、479000-2550 機種:ND-10FR 型番:479000-2530、479000-2560 [URL] http://www.denso.co.jp/ja/news/notice/110526-01.html
2011/06/27	遠赤外線電気暖房器	株式会社インターセントラル	[製品名及び型式] 遠赤外線電気暖房器 グラスヒート・ヘリオス 機種名:JH-1000 [問い合わせ先等] インターセントラル グラスヒート ヘリオス コールセンター 0120-82-6218
2005/5/1 再社告 2006/6/30 2011/07/12	電気式浴室換気乾燥暖房	マックス株式会社	[製品名及び型式] 浴室換気・乾燥・暖房機 機種:BS-131SHY [URL] http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/news.html?topics_no=240

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2011/09/01	ハロゲンヒーター	コーナン商事株式会社	[製品名及び型式] LIFELEX ハロゲンヒーター KOK22-9726GR(グリーン)、KOK22-9719Y(イエロー) [URL] http://www.hc-kohnan.com/pdf/110901%20KOK22-9726%209719recall.pdf
2012/01/07	湯たんぽ(充電式)	株式会社イトウ 株式会社ヒロ・コーポレーション	[製品名及び型式] 商品名:エコ湯たんぽ 型番:FR-15、MK-11、ND-13 製造年:2011年製 [問い合わせ先等] 株式会社イトウ お客様相談窓口 093-475-8128 [URL] http://hiro-corpo.net/
2012/01/10	ハロゲンヒーター	株式会社ドウシシャ	[製品名及び型式] PIERIA ハロゲンヒーター [URL] http://www.doshisha.co.jp/pdf/2012product/2012-01-10/120110.pdf
2012/01/23	蓄熱式ゆたんぽ	エレス株式会社	[製品名及び型式] エコタンポS/L(アイボリー、レッド、ブラウン、ピンク) [URL] http://www.elalice.jp/news/ekotanpocyuui
2012/05/09	オイルヒーター	株式会社コンポジット	[製品名及び型式] HYT-029FT [URL] http://www.composite8.com/oilheater/recall/
2012/11/30 再社告 2012/12/04	オイルヒーター	オカダジーエージェイ株式会社(製造) 良品計画(販売)	[製品名及び型式] 対象機種:ミニオイルヒーター(収納カバー付)・型番:MU-M75AK・製造年:2012年製 ※2011年以前に製造した商製品は、放熱板の成型が正常であることが確認済みのため対象外です。 ・確認方法:本体側面貼付の『定格銘板』で確認してください。 [URL] http://ryohin-keikaku.jp/news/2012_1204.html
2012/11/30	オイルヒーター	オカダジーエージェイ株式会社	[製品名及び型式] 製品名:ユーレックスアイ ミニオイルヒーター 製品型式:KKE-M7U(W)、KKE-M7U(RP)、KKE-M7U(O)、KKE-M7U(G) [URL] http://www.eureks.co.jp/pdf/notification.pdf

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2013/01/15	デスクヒーター	クレオ工業株式会社	[製品名及び型式] 機種名:ピタッとヒーター 型番:NN8920 JANコード:4969638001802 機種名:暖ったかSUNヒーター 型番:NN8920B JANコード:4954223503571 ※下記機種は対象外です。 機種名:3Hタイマー付きテーブルヒーター/型番:NH2470 機種名:暖ったかSUNヒーターDX/型番:NH2470B [URL] http://www.kreo.co.jp/nn8920_recall.html
2008/4/21 再社告 2012/02/24 2013/03/11	カーボンヒーター/ハロゲン	燦坤(サンクン)日本電器株式会社	[製品名及び型式] ・カーボンヒーター TSK-5328CT(2005年、2006年製)、TSK-5328CRI(2005年、2006年製)、UHC-9T(2007年製)、 UHC-3T(2008年、2009年製) ・ハロゲンヒーター FS-900T(2006年、2007年製) [URL] http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html
2008/4/21 再社告 2012/2/24 2013/03/11	電気ストーブ	燦坤(サンクン)日本電器株式会社	[製品名及び型式] TSK-5303(Q、Y、L、)シリーズ(2003年製~2007年製)、SHQ-8(2007年製)、SHH-8(2007年製)、 SHU-8(2007年製)、FS-800W(2005年製~2007年製) [URL] http://www.tsannkuen.jp/kinkoku.html
2013/08/01	豆炭あんか	シナネン株式会社	[製品名及び型式] シナネン株式会社 製品名:品川あんか JANコード:4981973580262(OEM供給先) 株式会社 ミツウロコ 製品名:ミツウロコ豆炭アムカ JANコード:4936966001033 株式会社 十全商会 製品名:十全あんか JANコード:4931209000088 [URL] http://www.sinanen.com/info/pdf/130801.pdf
2013/12/10	電気ストーブ	株式会社ピーナッツ・クラブ(販売) 株式会社ヨシナ(輸入)	[製品名及び型式] Smart-Style パワフルヒーター 型番:NSB-C56 商品コード:KK-00131 [URL] http://www.peanuts-club.co.jp/content/item-info.html#pfh
2014/01/24	充電式カイロ	株式会社アイデアインターナショナル	[製品名及び型式] 製品名:BRUNO 3way ハンディウォーマー 品番:BDE014-CLAU 商品コード:4760134 品番: BDE014-TATU 商品コード:4760135 品番:BDE014-LUCK 商品コード:4760136 品番: BDE014-LESL 商品コード:4760137 [URL] http://idea-in.com/index.php?pg=news_detail&am=850

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2014/02/20	電気ストーブ	株式会社ダイエー	[製品名及び型式] 1. 商品名:「コルティナ 電気ストーブ DES-902」(カラー:イエロー・グリーン・ホワイト) 2. 販売店舗:ダイエー、グルメシティ、マルエツ、今治デパート、高知スーパーマーケット(株)東武、ベルシャイン、ヤスサキパリオなど合計 384店舗 [URL] http://www.daiei.co.jp/corporate/index.php/release/lists/detail/997
2014/03/17	ファンヒーター	ダイソン株式会社	[製品名及び型式] ダイソン Hot+Cool(ホット アンド クール)AM04 ダイソン Hot+Cool(ホット アンド クール)AM05 [URL] http://www.dyson.co.jp/Support/CustomerNotice.aspx#DysonHotCoolAM04AM05 リコール専用サイト: https://www.dysonrecall.com/ja-JP/Info
1999/11/12 再社告 2003/2/7 2006/10/2 2006/12/22 2007/2/7 2008/2/27 2009/11/18 2010/11/10 2011/11/10 2012/12/12 2013/11/1 2014/12/02	ゆたんぼ(電子レンジ用)	株式会社ADEKA	[製品名及び型式] 夢暖 (旭電化工業株式会社) 安眠物語 (株式会社バイオスコーポレーション) あったまりーな (山甚物産株式会社) レンジで湯たんぼ(ピップトウキョウ株式会社) チビ暖くん (ピップトウキョウ株式会社)(土・日・祝日を除く) [URL] http://www.adeka.co.jp/news/2014/141202.html
2000/4/17 再社告 2000/11/27 2006/10/3 2008/2/27 2010/9/3 2014/12/02	ゆたんぼ(電子レンジ用)	株式会社 タカラトミー	[製品名及び型式] 「ハローキティホット2フレンド」の付属品 ”電子レンジで温める湯たんぼ(製造元/株式会社ADEKA 旧社名/旭電化工業株式会社)” 回収対象商品「レンジでチン ハローキティホット2フレンド」 Lサイズ(H 320mm)、Mサイズ(H 200mm) ※蓄熱材はL・Mともサイズは同一です。 [URL] http://www.takaratomy.co.jp/products/information/hot.html
2015/03/02	蓄熱式電気ゆたんぼ	大河商事株式会社	[製品名及び型式] 蓄熱式電気ゆたんぼ:エネタンポ2ノベーシックタイプ、アーバンタイプ [URL] http://tai-ga.com/info/ene2inf.html

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2015/03/02	蓄熱式電気ゆたんぼ	大河商事株式会社	[製品名及び型式] 蓄熱式電気ゆたんぼ:エネタンポ4/ベーシックタイプ [URL] http://tai-ga.com/info/ene4inf.html
2015/04/20	ベースボードヒーター	株式会社インターセントラル	[製品名及び型式] 商品名:自然対流方式ベースボード型電気暖房器「ベースボードヒーター」 型番:EHC-3500 製造番号:M0304343****~M1309343**** 型番:EHC-4000 製造番号:M0304341****~M1309341**** 対象製造番号:上4桁 0304~1309(製造年月)、下3桁 341、343(型番識別番号) [URL] http://www.i-central.co.jp/common/pdf/150420-1.pdf
2015/06/03	電気式浴室換気乾燥暖房	マックス株式会社(製造・販売) トステム株式会社(現 株式会社LIXIL)(販売)	[製品名及び型式] 1)ブランド:マックス株式会社 対象品番:BS-101 2)ブランド:トステム株式会社(現 株式会社LIXIL) 対象品番:BS-58H, BS-58HCX (システムバス「レフィノIV」に搭載 または、システムバス「LS」、「レフィノ」シリーズの修理交換用) [URL] マックス株式会社: http://wis.max-ltd.co.jp/dry-fan/oshirase_20150604.html 株式会社LIXIL: http://www.lixil.co.jp/warnings/2015/002.htm